

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 9月  
令和2年9月1日の推計人口 1,311,623人  
世帯数 561,306世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

### 1 推計人口

令和2年9月1日現在の推計人口は、1,311,623人で、前月(1,312,523)に比べ900人の減少となった。

市部では、大村市(106)、対馬市(23)の2市で増加し、長崎市(△401)、佐世保市(△257)、南島原市(△73)、西海市(△65)、島原市(△45)、諫早市(△35)、平戸市(△32)、雲仙市(△26)、松浦市(△15)、五島市(△15)、壱岐市(△13)の11市で減少した。

郡部では、佐々町(14)の1町で増加し、時津町(△24)、新上五島町(△14)、東彼杵町(△12)、長与町(△8)、小値賀町(△5)、川棚町(△3)の6町で減少した。

波佐見町は増減がなかった。

自然動態は、出生数751人、死亡数1,405人で654人の減少、社会動態は、転入者数3,031人(県内転入を含む)、転出者3,277人(県内転出を含む)で、246人の減少となった。

### 2 世帯数

令和2年9月1日現在の世帯数は、561,306世帯で前月(561,451)に比べ145世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

令和2年7月1日現在、令和2年8月1日現在の人口を修正

## 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…7月

1人当たり現金給与総額 338,439円  
対前月比 27.1%減少  
対前年同月比 4.6%増加

### 1 賃金

7月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は338,439円で、前月に比べ27.1%減少し、前年同月に比べ4.6%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は256,753円で、前月に比べ0.5%減少し、前年同月に比べ4.1%増加した。

特別給与額は81,686円で、前年同月に比べ、4,664円増加した。

### 2 労働時間

7月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は153.5時間で、前月に比べ1.5%増加し、前年同月に比べ0.6%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は143.3時間で前月に比べ1.5%増加し、前年同月に比べ0.4%減少した。

所定外労働時間数は10.2時間で、1.0%増加し、前年同月に比べ2.8%減少した。

### 3 雇用

7月の常用労働者数は209,247人で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ7.9%減少した。

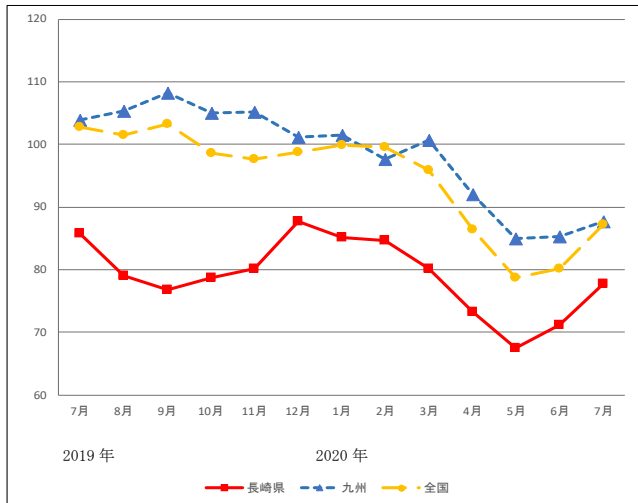
【鉱工業生産指数】……………7月

令和2年7月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区 分	季 節 調整済 指数		原 指 数	前年同 月比(%)
	前月比 (%)			
長崎県	77.8	9.4	77.7	△5.6
九 州	87.7	2.8	91.2	△16.6
全 国	87.2	8.7	90.4	△15.5

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和2年7月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が77.8で対前月比は9.4%の増、原指数は77.7で対前年同月比は5.6%の減となった。

業種別にみると、繊維工業、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など9業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、窯業・土石製品工業など4業種が低下した。

○主な上昇業種

業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上 昇 に 寄 与 し た 主 な 品 目
繊維工業	52.2	△48.1	漁網・陸上綱
輸送機械工業	20.7	△10.4	修繕船
電子部品・デバイス工業	12.5	△2.6	半導体集積回路

○主な低下業種

業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低 下 に 寄 与 し た 主 な 品 目
はん用・生産用機械工業	△9.4	11.3	クレーン
窯業・土石製品工業	△4.6	△9.9	生コンクリート

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………8月

総合指数(H27=100) 103.7

対前月比(%) ±0.0

対前年同月比(%) +0.2

令和2年8月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.7である。

前月と同水準で、主な上昇要因は「食料」の+1.2%、「交通・通信」の+0.5%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の△2.7%、「家具・家事用品」の△1.8%である。

前年同月比は、令和2年4月は+1.2%、5月は+1.1%、6月は+0.9%、7月は+0.4%と推移した後、8月は+0.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.3であり、前月比は△0.4%であり、前年同月比は△0.3%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

食 料	1.2%
交 通 ・ 通 信	0.5%

▽同水準の費目

住 居	±0.0%
教 育	±0.0%

▽下落した費目

保 健 医 療	△0.1%
諸 雑 費	△0.2%
光 熱 ・ 水 道	△0.2%
被 服 及 び 履 物	△0.8%
家 具 ・ 家 事 用 品	△1.8%
教 養 娯 楽	△2.7%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……8月

消費支出(一世帯当たり) 246,159円

前月比 9,484円減(4.0%増)

令和2年8月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は246,159円で、前月比4.0%の増、前年同月比は24.3%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は65.8%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。